

タイ大学と連携した 高度外国人材活用支援事業



KMITL
พระจอมเกล้าลาดกระบัง

産業経済局国際ビジネス戦略課
令和7年2月26日



北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

事業概要

背景

- 中小・中堅企業における高度人材（エンジニア）の採用課題
- 高度外国人材の積極的な採用、育成の重要性の高まり

高度外国人材活用支援事業の展開

- タイ大学と連携した地域企業への長期インターンシップ受入
- 平成30年度（1期生）から事業開始

- 令和6年度で7年目を迎え、**地域企業に高度外国人材が就職**するモデル事業に発展

地域の製造業・IT企業等の高度人材獲得を支援
タイでのビジネス展開等を支援



タイ：東南アジア進出のゲートウェイ



面積	約51万km ² （日本の1.4倍）
人口	約6600万人
時差	日本時間 -2時間
首都	バンコク（約600万人）
経済成長率	1.6%
一人当たりのGDP	約7,800ドル
言語	タイ語
平均年齢	38歳（日本：48歳）
宗教	95%の国民が仏教

- ◆ 東南アジアの主要国として、経済成長を続ける
- ◆ 穏やかな国民性で、親日国としても知られる
- ◆ 大手日系企業も多数進出をしている（バンコク日本人商工会議所会員：約1,600社）

出典：JETRO HP(2021年時点)

首都バンコクと福岡は 直行便で約6時間



パンヤピワット経営大学 (PIM)



タイの最大財閥であるCPグループ企業が経営する、同国最初かつ最大の企業大学

■大学概要

設立 2007年6月

設立者 CPオール

学部数 工学部等 10学部27学科
(学部、修士、博士課程)

生徒数 約14,000人

所在地 ノンタブリー県 (バンコク首都圏)

特徴

- ✓ 学問や論理的な知識と合わせて**実践的な経験**に焦点を当てた企業大学ならではの教育カリキュラム/Work Based Learning
- ✓ 総合で**在学期間の半分以上**を、国内外の企業における有給インターンシップで過ごし、**即戦力となる技術を習得**

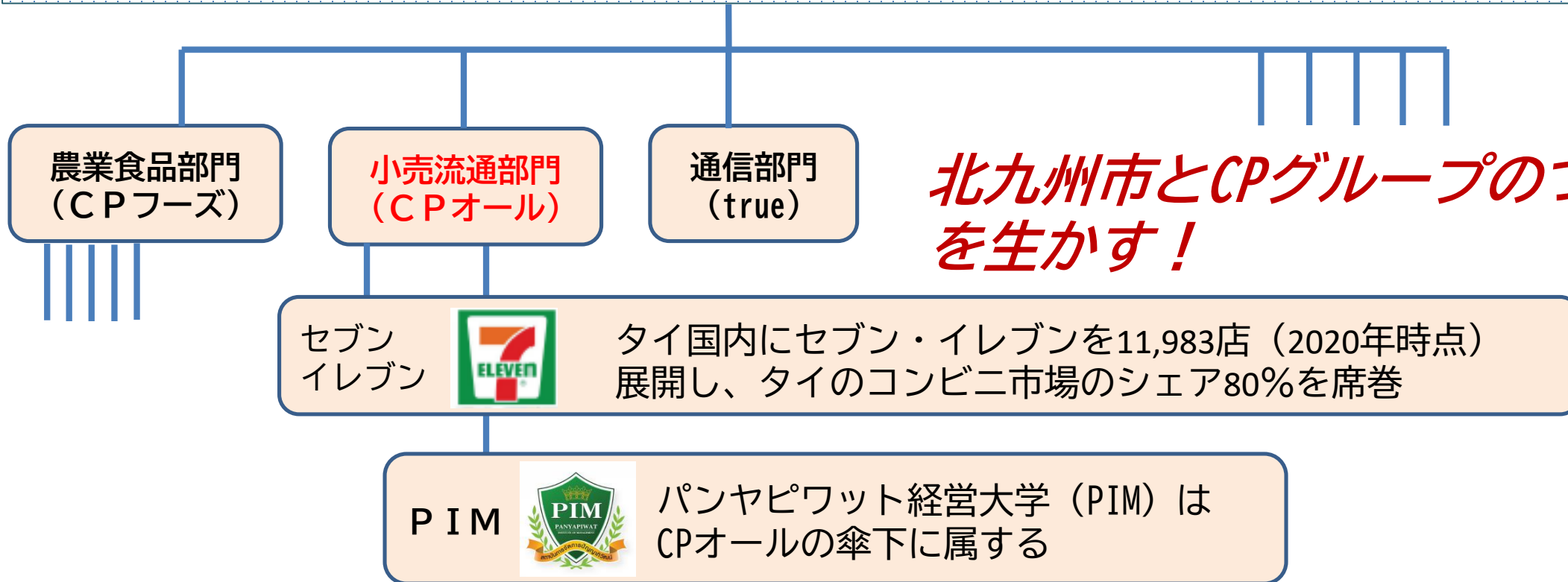


財閥チャロン・ポカバン（CP）グループ


■タイを代表する複合企業


農業、工業、食品、グローバルキッチン、流通、不動産、石油、通信の
8つの分野の事業を展開

- 売上高 約1兆7000億バーツ（約7兆円超）
- 従業員 約40万人
- 関連企業400社以上（世界20か国に拠点）



北九州市とCPグループのつながりを生かす！

セブンイレブン  タイ国内にセブン・イレブンを11,983店（2020年時点）展開し、タイのコンビニ市場のシェア80%を席卷

P I M  パンヤピワット経営大学（PIM）はCPオールの傘下に属する



World University Rankingにおいて国内7位、広大なキャンパスを有する国内トップレベルの国立工科大学
※令和6年度から北九州市と連携を開始する

■大学概要

設立	1960年8月
前進	日本政府との技術協力協定により 電気通信訓練センターとして設立
学部数	工学部等 11学部5研究科 (学部、修士、博士課程)
生徒数	約26,000人
所在地	バンコク市

特徴

- ✓ 日本政府の継続的な経済支援を受け、日本式ものづくり教育を普及
- ✓ 日系企業の戦力となるよう日本語教育にも力をいれている
- ✓ 多くの卒業生が大手のタイ系、日系企業へ就職し、日本での就業を望む学生も多い



岸田文雄内閣総理大臣 キングモンクット工科大学ラカバン校高等専門学校 (KOSEN-KMITL) を訪問の様子 (令和4年5月2日)

【近年の話題】日本型高等教育モデル「タイ高専」

- 産業の高度化を目指すタイでは、専門性を備えた技術者の養成が課題であり、タイ政府は、日本の高専型教育をタイに導入することを決定。
- 2019年5月にタイにおける第1校目の高専であるKOSEN-KMITLが開校し、2020年5月には第2校目の高専であるキングモンクット工科大学トンブリ校高等専門学校 (KOSEN KMUTT) が開校。
- 現在、両校合わせて約400名の学生が在学しています。
- 日本からタイ高専への教師派遣やタイから日本の高専への留学等を実施し、日本の高専型教育のノウハウを提供し、タイが必要としている高度人材育成を支援

理工系高度外国人材活用支援事業

目的

ものづくり関連企業、IT企業等の**人手〈エンジニア〉不足**に対応
海外でのビジネス展開を推進するための人材育成

特徴①

正規採用を前提としたインターンシップ



- ✓ 実習期間において、学生の意欲、適正等を把握し採用できる
- ✓ 学生・企業間の合意形成が円滑に行われ、雇用後の認識ギャップが解消
- ✓ 就労ビザ「技術・人文知識・国際業務」を取得するための立証を裏付け

「技・人・国ビザ」の申請にあたっては、学生の専攻内容とこれから従事する業務内容（活動）の関連性で厳しく精査、判断されます。インターンシップ実績により、マッチングがなされたことや、業務内容・雇用条件などについて、双方の合意形成がなされたことの説明もし易くなります。

理工系高度外国人材活用支援事業

特徴② 〈企業向け〉 受入に係る諸業務を重点サポート

1	学生の選抜	日本企業で長期働く意志、学業成績（GPA）、語学力等により選抜
2	面接設定（通訳手配）	マッチングを図るための面接を2回程度実施
3	入管手続き	受入にかかる書類の作成サポート
4	日本語教育	日本語学校講師による集中講座を実施（計120時間超）
5	住居、役所等の手続き	住居選定・契約、住民登録、年金、各種保険等の手続き
6	その他生活環境整備	銀行口座開設、自転車貸与、買い物サポートなど

特徴③ 〈学生向け〉 メンタルサポートと定着支援

1	北九州高専での実習 研修中の困りごとへの 即時対応	▶週1で高専生を交えた実習と異文化交流 ▶事業開始時より関わっていただいている「タイ出身・本インターンシッププログラムの母」による文化研修、メンタルケア
2	先輩コミュニティ	過年度に就職した先輩たちのサポートで暮らしの安全を確保

これまでのインターンシップ受入実績(H30-R5)

- ◆ 平成30年度から実施し、令和6年度で7年目を迎える
- ◆ 現在は、新規4社で7人の学生がインターンシップ中

過年度	受入企業数	参加学生数
H30	4社	5名
R1	6社	7名
R2	6社	6名
R3	4社	8名
R4	3社	7名
R5	5社	6名
合計	延べ28社	39名

受入実績企業 計17社		
(有)ICS SAKABE	計測検査(株)	(有)第一製作所
アスカコーポレーション(株)	(株)ケーメック	(株)ドーワテクノス
石川金属工業(株)	小倉鉄道(株)	(株)ハッズ
(株)オーネスト	JMACS(株)	(株)八幡電機精工
九州鉄道機器製造(株)	(株)タイヨウ	(株)リョーワ
(株)ソルネット	(株)ワークス	以上17社

インターンシップ学生 計39名	
■自動車生産工学科 24名	■コンピューター工学科 4名
■デジタル・情報工学科 3名	■産業工学科 1名
■生産工学・AI学科 1名	■ロボティクス・オートメーション学科 6名

R5年度までの6年間で・・・

**17社の地域企業で39名がインターンシップ実施し、
うち32名の就職が決定！**

インターンシップ 全体の流れ (モデル)

時期	流れ	備考
4～5月	参加企業募集	
6月	学生情報・企業情報開示 面接(オンライン)	学生情報：履歴書、成績証明書、PR動画 企業情報：会社概要、受入条件（給与等）※英語
7月	インターンシップ受入マッチング決定 最終面談(タイ現地)	希望企業の皆様とタイ現地にて学生面談及び 大学教員との意見交換、視察等を実施
8月	入国管理局関係の書類作成・手続き	(对学生) 受入協定書 (対大学) 覚書の締結等含む
9月	ビザ取得	ビザ【特定活動】
10月	入国 ▶▶▶ 住居ほか生活環境整備 インターンシップ開始	約4か月間
翌2～3月	帰国 ▶▶▶ 卒業 就業準備	
6～7月頃	ビザ発給にかかる手続き 駐日タイ大使館手続き	ビザ【技術・人文知識・国際業務】
8月以降	再来日 ▶▶▶ 就職	

インターンシップ決定（6-7月）の流れ※R6の例

2月現在	4月～	6月	7月
事業説明会	申込開始 R6募集説明会	マッチング仮決定	最終面談 インターンシップ決定（準備開始）
企業	参加申込書の提出 6月初旬まで ◆ 企業概要資料 ◆ 紹介動画など ◆ 雇用条件書 （インターンシップ中及び正規雇用時）	◆ 書類による選考 ◆ 面談による選考 ◆ 希望学生の順位付け WEB面接 6月中旬 Web面接 マッチング	タイ訪問・最終面談 タイ訪問 7月末 最終面談 タイ現地面談 またはWebにて
学生	◆ 履歴書 ◆ PR動画	◆ 受入企業希望調査	

インターンシップ生の一週間 (モデル)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	企業インターンシップ 		高専実習	企業インターンシップ 		休日 	
午後			対面 日本語講座				
夜 (帰宅後)	オンライン日本語講座 ▶ 週3回程度 ▶ 1回2-3時間			4か月間で120時間 ※オンライン講座とは別途、 日本語試験実施			

インターンシップ生の一日と生活環境 (モデル)



住居

市内の民間学生寮 または
民間アパートでのルームシェア など

- 受入企業の事業所所在地、家賃等生活費を考慮
- 学生(大学)と調整により決定
- 月平均生活費: 8~9万円
- インターンシップ中の手取り額: 約10万円

食事

自炊
※学生寮の場合は、朝夕食サービス有

通勤

公共交通機関等を利用して通勤
※自転車貸与有(自転車保険加入)

休日

学習や休息に充てる学生が多い...

- 大学の課題や日本語講座の復習
- まちの散策や異文化体験も勧めています

業務外のことについても、積極的に声をかけただけだと、日本語能力向上や安心感にもつながるようです!

インターンシップ中の取組み事例

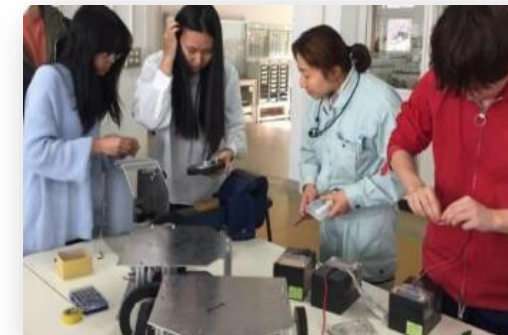
■企業での取組み

- ・ IoTシステムのユーザーインターフェース設計・プログラミング
- ・ 新規導入のロボットの立ち上げ
- ・ 3D・CADを利用した製品設計
- ・ AIを活用したアプリの研究・開発
- ・ 海外の工場などの市場調査・研究



■高専での取組み

- ・ 学習用キットを活用したAIプログラムの開発
- ・ 高専学生との交流プログラム



インターンシップ生受入にかかる経費

学生の負担経費

- ◆ 渡航・生活開始支度金
 出国に関する手続き費用、入国後の生活必需品購入費など
- ◆ 滞在費
 家賃、水道光熱費、通信料金、食費、交際費、雑費



企業様の負担経費

- ビザ取得に係る諸経費
- 渡航時往復航空券代 (片道約4万円)
- 住居初期費用 (約7万円)
- インターンシップ報酬 (1,100~1,500円/時)
- 通勤手当等諸手当 (交通費、賞与など)
- 健康保険
- 厚生年金
- 社会保険・労災保険等



就職決定後の手続き（イメージ）

2月頃

採用意向の確認
(インターンシップ中)

3～4月頃

卒業手続き

5～6月頃

ビザ・入国手続き
就労ビザ【技術・人文知識・国際業務】

7～8月頃

駐日タイ大使館手続き

8～9月頃

再来日・就職

※手続きは、各社の状況、制度の動向等により、大きく異なることがあります。
あくまでイメージです。

日本文化研究会

สมาคมวิจัยวัฒนธรรมญี่ปุ่น

Sado
茶道

Ceramic art
陶芸

Kokura Traditional Textiles
小倉織物



業務外での活躍

サワッディー北九州

With Tourism
Authority of Thailand

สวัสดีค่ะทิวชู่



タイ商品販売
Thai product sales



タイ国の紹介
Introduction of
Thailand



タイ語講座
Thai language
lecture



日本語教室
Japanese class
(Emoji)

By Kitakyusyu International
Association



1. 事業運営

- 入国管理局との事前協議
- タイ大学との連絡調整（学生情報の取り纏め）
- 学生の選考及びマッチング支援（面接設定）
- タイ訪問の企画
- 市長との面会、歓迎会の実施など

2. 入国手続き関連

- 在留資格認定証明書（COE）申請 各種支援
 - 学生の受入協定書
 - 大学との覚書締結 含む
- COE取り纏め、タイへ発送
- 各種支援機関の紹介

3. 研修支援

- 入国・帰国時の送迎
- 入国時オリエンテーション（生活マナー、交通ルール等）
- 住居、区役所手続き、銀行口座、保険契約等
- 生活必需品の買い物支援
- 受入事務に関するお問い合わせ対応
- 日本語教育実施
- 学生の生活・研修全般のフォローアップ

4. 就職時

- 大学（学生）からの必要書類取得支援
- 行政機関からの支援施策等の情報提供
- 各種支援機関の紹介
 - ※北九州外国人就労サポートセンターほか
- その他ご相談受付

令和6（2024）年度の学生について

インターンシップ候補学生について

PIM（9名） 大学内選考通過によるプログラム参加決定者

- 自動車生産工学科（1名）
- ロボティクス・オートメーション学科（1名）
- 産業（生産）工学・インテリジェント製造学科（5名）
- デジタル・情報工学科（2名）



4名

KMITL（11名） 大学内選考通過によるプログラム参加決定者

- 工学部 産業（生産）工学科（4名）
- 工学部 通信・ネットワーク工学科（1名）
- 情報工学部 データサイエンス・ビジネスアナリシス学科（1名）
- 材料イノベーション技術学部 ナノマテリアル工学科（5名）



3名

4社で7名がインターンシップを実施中

まとめ：インターンシップ参加のメリット

① 高い就職率

原則として、インターンシップ終了後に就職

② 学生の資質

実践的な教育を受けた優秀な学生を選抜
日本就業に高い意欲を持ち、日本語能力の向上も早い

③ 市の支援

受入準備、日本語教育、各種手続きを市が支援

④ 外国人社員採用の波及効果

- **社内の多様性が広がる** (外国人社員の個性・視点を生かした業務)
- **日本人社員が活性化し、若手の成長が促される**
- **将来的な海外展開の足掛かりになる**



ご清聴、ありがとうございました。
皆様のご参加をお待ちしております。



詳細は、下記HPをご覧ください
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/10100095.html>